

県製薬協会が総会 事業計画を決める

県製薬協会の第80期定時総会が、岐阜市湊町の十八楼で開かれ、高齢者福祉施設への医療用品の寄贈など本年度の事業計画を決めた。

同協会は1948年に設立し、現在は28社が加盟。総



総会であいさつする中村源次郎
会長（岐阜市湊町、十八楼）

会には19社から約30人が出席した。

同協会の中村源次郎会長（秋田屋本店会長）は「第80期の節目の年。ナフサ供給不安という危機にこそ協会の役割が期待される」とあいさつ。議事では事業計画案や予算案を承認し、永年勤続従業員の表彰も行われた。

特別講演では、県健康福祉部薬務水道課の山内康裕課長が最近の薬務行政について話した。（大堀瑠美）